



特集 挑戦する高校2年生 !!

〈前編 模擬国連〉

NO.11

この秋、将来のグローバルリーダーを目指す高校生向けに様々なイベントが開かれています。本校からも、高校2年生が「全日本高校模擬国連大会」、そして韓国で開催された「Trilateral Leadership Summit 2014」、「アスペン・ジュニア・セミナー」(来年の1月まで3回にわたって開催)などに参加しています。本号では、「全日本高校模擬国連大会」に参加した。高校2年生の星野新君と中山悠翔君にその報告をしてもらいます。

まず、模擬国連というものについて説明します。模擬国連というのは文字通り国連を模擬するものです。具体的に言うと、世界各国に向けた国連の議決をみんなで通すことをします。1つのチームに1つの国が割り当てられて、その国の立場とか国益とかを調べ、考えながら世界を良くする議決をみんなで作りましょうというゲームです。最初は1923年にアメリカの名門校、ハーバード大学で生まれたものであり、今では日本の高校生までに広がりました。当時は遊び感覚でやっていたでしょう。今でもそうした側面がありますが、議事進行は英語で進められ、交渉時間中は皆真剣な眼差しで朝から夕方まで、丸二日間臨んでいます。高校生のうちにこのような事ができるというのは貴重な経験です。では二人に報告をしてもらいましょう。

こんにちは。先日、全日本高校模擬国連大会に出場した高校二年の星野です。僕の模擬国連との出会いは中学二年の秋、山手線の中でした。海城からは二度目の参加となる模擬国連大会を終えたばかりの渋谷先輩(現東大1年)に声を掛けられました。最初は何のこっちゃと思いましたが、世界情勢や英語に関心があったので、興味深く聞き入りました。しかし当時は社会科のレポートのインタビューにも大いにたじろぐ坊やだったので、そんな大舞台に自分が出ようとは思いませんでした。そして高校2年の夏、以前から足繁く通っていたグローバル教育部の春田先生からお誘いを頂き、出場を決意しました。

今年の本戦の議題は食料安全保障でした。食糧不足に苦しむ途上国がある現状の中で、如何にして多くの国が納得できる形でそれを解決するか、が焦点となりました。論点には「食肉消費・バイオ燃料・土地及び水資源の利用・農業技術」の4つが設定されました。僕達は運良く第一希望が通ってニュージーランドの大使となり、藻類エネルギーを中心とするバイオ燃料と遺伝子組換えを中心とする農業技術に対象を絞り、政策を練りました。

準備段階は困難の連続でした。社会科や英語科、国語科や家庭科にまでヒントを求めて毎日怒涛の如く押しかけ、おまけに様々な資料を提出ギリギリに見て頂く事もしばしば、多くの先生に呆れられる結果となりました。何よりもありがたかったのは、前述の渋谷先輩やその相方の大村先輩(現グリーンネル大学)、模擬国連スタッフでもある金子先輩や出納先輩(過去のグローバル通信にも載ってましたね)がどんなに忙しくても嫌な顔一つせず、親身になって質問に答えて下さった事です。そして当日の流れや交渉の仕方も分からなかった僕達に、一から教えて下さいました。僕達は大使館にまで電話をかけましたが、交渉の余地なく片言の日本語で軽く拒否されてしまいました。(まあアクシデントは付き物です…) 大会前の一週間はやるべ

き準備の多さにプレッシャーや不安しかなく、ひたすら資料を読み漁りました。

こうして臨んだ会議本番、交渉自体が侘なるのか不安でとにかく緊張しました。しかし始まってしまえば、意外に自分と似た立場の人も多く、予想以上にスムーズに交渉が進みました。結論から言うと、自分たちの立場を踏まえた政策が、自分が集めたグループの政策に全面的に盛り込まれ、決議案として提出されて一定の成果を修めました。しかし続く修正案がうまく提出できないなどのミスもあり、完全に満足できる結果には至らず反省点も残しました。それでも、交渉を重ねていく過程で得た素晴らしい仲間は何物にも代え難い存在となったし、今回の大会のテーマであった-Overcoming yourself-に関しては苦手な英語スピーチをやり遂げるということで少なからず達成できたかなと思います。自分のスピーチの順番が午後一番と分かった時は、昼食のハヤシライスも喉に支える思いでしたが…。

最も重要なのは、如何に相手を倒すかではなく、如何に協調する姿勢を終始貫くか、だと学びました。交渉とはそのための手段であり、積極的に発言し自分の意見を主張する事(時に自己主張が激しいと形容される事もありますが…)や、相手の意見に真剣に耳を傾ける事こそが交渉の本質であると学びました。あるメンバーは、秘密裏に二グループを統合する事で他国を孤立させ打ち負かす計画を立てました。皆がその巧妙な戦略に感心する中、別のメンバーは、「例えライバルでも対立はしたくない。最終的にはその国からの賛同も得たい。」と言いました。まさしくこれが国際平和の本質だと思いました。対立を和解に変えるスペシャルな特技をお持ちの方々、是非一度模擬国連に挑戦してみてください。

僕は相方のおかげでここまでやって来られたと思っています。唐突な誘いにもノリ良く応じてくれ、多少の意見の食い違いこそあったものの、リサーチの段階から常に積極的に素晴らしいバイタリティを持って取り組んでくれて本当に感謝しています。そして何より、ご多忙の中いつも温かく後押しして下さいました多くの先生方、ご自分達の貴重な時間を返上して助けて下さった先輩方、本当にありがとうございます。感謝してもしきれません。

僕は今回の大会で生まれた反省点を次の世代の活躍に活かしたいと思い、9月に我が校にもグローバル同好会(他校には既に模擬国連部なる部があり活発に活動しています)を創設しました。月1回のMMUN(模擬模擬国連)なる活動を行う模擬国連チームの他、English Speakingと国際研究の3つのチームに分かれて活動しています。またFacebookでも広報活動をしています。

(二人一組という噂があるようですが)帰国子女の方もそうでない方も、どなたでも自由に入部できますので興味があれば是非一度いらしては如何でしょうか。いつでも心からウェルカムです。

Now, it's your turn!!

(左:中山君 右:星野君)



こんにちは。先日、全日本高校模擬国連大会に出場した中山です。現場ではどのようなことがあったのかというのは相方が殆ど書いてしまいましたので、僕は全体の概要を説明します。

日本の全国高校生模擬国連大会に出るには、まず書類審査を突破しなければなりません。課題が与えられて、それについて自分で調べ、レポートにして提出します。そこでは情報収集力、分析力、表現力（国語力と英語力の両方が必要ですよー）等が求められます。具体的に僕達が解いた問題を載せておきます。



(各国大使)

問 3 内閣府による「外交に関する世論調査」(2011 年度)では、「先進国は開発途上国に対して資金や技術協力などの経済協力を行っているが、いろいろな面から考えて、日本のこれからの経済協力についてどのように考えるか」について聞いたところ、「積極的に進めるべきだ」と答えた人の割合が 27.4%、「現在程度でよい」と答えた人の割合が 47.4%、「なるべく少なくすべきだ」と答えた人の割合が 17.8%、「やめるべきだ」と答えた人の割合が 2.6%となっていました。この 4 つの選択肢の中であなたならどの答えを選びますか。答えを一つ選んで冒頭に書き、その答えを選んだ理由を、根拠となる事実や見解を複数挙げながら述べなさい。なお、その際参照した書籍、ホームページなどは最大 3 つまで「参考文献」の枠の中に書きなさい。1200 字以内。ただし参考文献については字数に含めない。

問 4 あなたにとってのグローバル化とは何ですか。あなたが身近に実感した具体的な事例を挙げつつ説明し、それが世界的にどのような影響をもたらしているのかを、あなたが考えるプラスとマイナスのいずれか、もしくは両方の面から論じなさい。400words 以内。ただしこの課題については参加者 1 人につき 1 つずつ作成しなさい。また氏名や所属を解答欄内に書かないこと。

こんなかんじの社Ⅲのレポート的な問題を夏休みを使って 2 人でやります。様々な人からアドバイスをいただきながら自分たちの意見を書きました。とても貴重な経験でしたし様々なことを学ぶことが出来ました。先生方や先輩方に感謝しています。

この書類審査を突破したら、次は本選です。自分の担当国は希望を出して決めます。(うまくいかない時もあります。)担当国が決まったらひたすらその国について調べあげて、まるでその国の大使であるようにならなければなりません。僕たちは具体的には図書室で本を読みあさったり(図書館の皆さんと職員さん、ご迷惑をお掛けしました)大使館にまで電話をしました。また、それだけではなく他国の立場なども調べて、前日までに二人で作戦を練ります。僕達 2 人は先輩も交えたりしながら何度も Skype で夜遅くまで会話をしたことが懐かしいです。

現場で何があったかとかは相方が書いたとおりだと思います。僕が現場で感じたのは、自国の利益も大事ではあるが、一番大事なのは「協調」だということです。模擬国連の目標は今後の世界を良くしていくことです。いがみ合えば何も進まないし、何も生まれません。でも、各

国が頑固な姿勢を変え、少しでも協調の姿勢を見せるだけで、何もかもが円滑に進み、みんなが同意した上で良い宣言を採択することができます。協調が平和をもたらすのだと感じました。これ以上に素晴らしいことがあるのでしょうか?と私は思います。

もっと詳しい話を聞きたければぜひグローバル部であつたり直接僕のところへ来て頂いても構いませんよ(笑)まあともかく、ここまで頑張れたのは先生方や先輩方のアドバイスと、何よりも相方の支えと努力が合ったお陰です。相方の情熱があつてこそ自分はここまで出来ました。模擬国連に参加したのも彼に誘われて面白そうだったからです。本当に彼には感謝をしています。

模擬国連は予選では表現力など、本選では分析力や交渉力、コミュニケーション力などをフルに発揮して行うゲームです。この経験は今後の人生で役に立つだろうし、何よりもたくさんの仲間ができます。これは一生の宝であると思います。ゲームにしてはかなり大きいですが(皆さんゲーム好きだと思いますしw)学生のうちにぜひ 1 度参加してみたいかでしょうか? まだまだ言いたいことはいっぱいありますが、ページの問題もありますのでとりあえずここでにします。興味がありましたらぜひお声をかけてください!

「〈地球村〉プログラム」仮申し込み

「グローバル」ということを考えるとき、言葉の運用能力は勿論必要不可欠であろうが、グローバル教育研究所の渥美育子氏は「Legal Code(ルールとノウハウ)」「Moral Code(人間関係)」「Religious Code(神の教え)」「Mix Code(3つのコードのうち2つが併存)」という4つの文化コードの理解が何より大切だと説きます。所謂「リベラルアーツ」を身につけることが肝心であるというわけです。

さて、「〈地球村〉プログラム」は、まさに体験学習的に「グローバルマインド」に必要な教養を身につけようというものです。生徒諸君には是非参加して欲しいプログラムだと思います。

今回は、施設や指導員の準備のための「仮申し込み」です。1月下旬に本申し込みをしてもらいます。その時に参加費用の支払いについての詳細をお知らせ致します。参加希望の場合は必ず「仮申し込み」をお願い致します。

なお、借り申し込み書は他の用紙を使っても構いません。12月11日(木)までにグローバル教育部にお申し込み下さい。

実施日 3月21日(土)~23日(月)
場 所 大原学園「富士宮研修所」
対 象 中学1年生~高校2年生 グローバル同好会の生徒
定 員 約35名(定員オーバーの場合は抽選とします)
費 用 45,000円を予定
引 率 グローバル教育研究所指導員 本校教員

.....キリトリセン.....

「〈地球村〉プログラム」仮申し込み書

「〈地球村〉プログラム」への参加仮申し込みをします。

年 組 番 生徒氏名 _____ 保護者氏名 _____